



「だるまがお出迎え」

秋のピアフェスタ 2025



ピアの杜

夏祭りから秋祭りへ華麗なる変貌を遂げたピアフエスタ、今年も無事開催することができました。参加された皆様には、職員一同、感謝の念に堪えません。雨模様ということもあり、「涼しくなった」の一步先行く肌寒さでしたが、夏開催のこれまでのピアフエスタ同様、いやそれ以上に盛り上がったのではないかと思います。その場に溢れた笑顔の力とその一体感は、ああこれが祭りだなやっぱり良いものだなと自然に思わせる説得力がありました。我がいすみ市には関東屈指の勇壮な祭りとして知られる「大原はだか祭り」があります。市内18の神社から十数基の神輿が集まり、海へと担ぎ込まれる「汐ふみ」や、神輿が競い合うように駆け巡る「大別れ式」は、その人々の熱気溢れる情景が実に印象的で、地域の人々の熱気と誇りを象徴する場面となっています。起源は江戸時代中期にまで遡り、五穀豊穡や大漁祈願を目的として始まったとされているそうです。漁業と農業が生活の基盤であった地域では、神々への感謝と祈りを込めて神輿を担ぎ、海へと進むことで自然との共生を表現してきました。元々の祭りの起源は太陽神・天照大神が岩戸に隠れた際、八百万の神々が宴を開いて誘い出したという『古事記』に記された天岩戸神話だとされています。祭りは神様への祈りと感謝を捧げる場であり、厄除けや健康、安全を願う儀式としての側面も持っています。また、日常(ケ)と非日常(ハレ)を区別する日本独自の感性において、祭りは「ハレ」の象徴であり、人々が心を解き放ち、活力を得る機会でもあります。そう考えてみれば、祭りは単なるイベントではなく、その地域の絆を深め、世代を超えて文化を継承する場でもあると言えます。大原はだか祭りのエピソードとしてよく聞く、何を質に入れてでも祭りの準備を整えるという話は、祭りが人々の生活にいか深く根付いているかを物語っています。現代においても、祭りは人々の心をつなぎ、地域のアイデンティティを育む大切な営みであり続けている証と言っても過言ではありません。我がピアフエスタがそこまで大きな意味を持つ祭りとなるにはまだまだ進化が必要ですが、笑顔で溢れた会場を思い出す度に、わずかなではあるかもしれないがその一助になれているのかも少しないと胸を熱くしています。ピアフエスタのテーマは、今年度の法人の新規事業になぞらえ「はじめの一步」でした。初めての秋開催となったピアフエスタは再びスタートに立つたわけですが、その思いは消えることなく、さらに大きく、来年はもっとたくさんの人を笑顔に出来たなら。続いての二歩目も大きな一歩になりますように！

ピアフェスタを開催（10/13）

八丈島に甚大な被害を与えた台風 22 号に続く 23 号台風の余波により開催準備のロードマップが大きく狂い、また、刻一刻と変化する気象予報に気をもみながらも前日の 18 時に開催を決断。当日午前中の設営時はそれなりの降雨もありスタッフはずぶ濡れ。家族会の応援も仰ぎ何とか開催にこぎつけました。さあ開会です。ピア宮敷利用者の「ぴあなっつ」によるウェルカムアトラクションのヨサコイソーランで開幕。開会式に続き、「和太鼓 風」さんの力強い太鼓の音が響き渡り、初登場の「外房チアリーディングクラブ COASTERS' 99」さんによる華やかなパフォーマンスが披露され、可愛らしい笑顔と掛け声に観客が魅了されました。「〇×クイズ」「秋の味覚流し麺」も相変わらずの人気アトラクションでした。続いては、今回、最も問い合わせが殺到した「変面ショー」です。来場者の期待にたがわぬ中国伝統芸能の絶技に会場は大盛り上がり。それもそのはず、演者は日本における変面の第一人者で中国変面芸術センター代表の「王文強」さんでした。そして、テレビ出演の経歴をもつモノマネ歌手「鈴木麻由」さんの数々のレパトリーに会場の雰囲気は最高潮へ!! まさにライブ会場さながらでした。途中、小雨もばらつき中断もありましたが、「ピア宮敷の秋

祭り」はそんな空を吹き飛ばすほどの明るい笑顔と熱気に包まれたイベントになりました。時おり吹く強い風にテントが大きく揺れ、のぼりや掲示物が煽られましたが、子どもたちの元気な声と美味しそうな屋台の香りが混ざり合い、まさに秋の賑わいそのもの。天候に恵まれなくても「みんなで楽しもう」という思いが一つになり、むしろ参加した全員が心から笑顔になれた一日だったように感じます。ピア宮敷の温かな雰囲気と地域とのつながりを改めて感じられる、忘れられない秋祭りとなり、あたたかい人の輪があの日空を明るく照らしていたように感じました。(記事:石野健)



「子供たちに大人気〇×クイズ」



「みんなに大人気 秋の味覚流し麺」



「子供たちが殺到 だるまおとし」

一泊旅行に行ってきました! ~戸外班・GH (9/25 ~ 26)

ひと月以上前から「旅行いつ行くの?」と数名の利用者から尋ねられ、期待の高まりを感じていた一泊旅行。9月25日、ついにその日を迎えました。何時間も前から準備を済ませ、出発を待ちきれぬ面々。窓から中庭に視線を向け、今か今かと待ち構えたバスが入ってきたときには割れんばかりの大歓声に包まれました。今回の旅行先は茨城県。まずは、サメの展示日本一をうたう大洗アクアワールドに向かいます。水槽を覗き、魚の姿を見る利用者の面々ですが、動物園ほどの感動はないようでリアクションが今一つ。人がすっぽり入るほどのサメの骨格標本を前にしても「これ何?」と聞いてくる利用者はほんの数名。場所選びを間違ってしまったかな…と不安になりましたが、アシカとイルカのショーで状況は一変。皆さんの目が輝き始め、イルカが水しぶきを上げるたびに大きな歓声を上げていました。宿泊先は潮来市内のホテル。名物のあやめ咲く季節程の賑わいはなく、宿泊客少な目。そのおかげでゆっくり温泉大浴場を独占。浴衣に着替え、お楽しみの大宴会。あっという間に食事を平らげた後は大カラオケ大会となりました。歌はほとんど昭和の名曲。トリの曲



は何と「愛のメモリー」。やっぱり皆さん昭和世代です。

そして迎えた二日目。向かった先はご存じ日本一大きな牛久の大仏様。「大きい〜!」と言いながら見上げ、大仏様の胎内へ。仏の教えを見て聞いて、身も心も清められた…かどうかはわかりませんが、出てきたときの顔はどこかスッキリした表情に見えなくもないような…。帰りのバスの中は皆さんお疲れの様子で、とても静かでした。お互い年をとったのでしょうか。こうして皆で出かけられるのもあと何回くらい? 楽しい旅行と感じてくれるのはいつまで? と思いながら旅行を終えました。ただ、今回の旅行は楽しかったに違いありません。記事と一緒に載っている写真がその証拠ですから。(記事:高井)



はピア宮敷では、職員のワーク&ライフの充実を応援しています。ワークに一生懸命に取り組むのはもちろんの事、ライフにおいても、見聞を広げたり様々な経験・体験を積み重ねることで、明日への活力につながることを目指しています。

「ワーク&ライフ全力投球」

菜花栽培の繁忙期は11月から3月。大好きな野球のシーズンオフが自身の活躍の時期。農福連携菜花プロジェクトで大活躍の【熱田真帆支援員】の登場です。

私はジャイアンツファンです。祖父がジャイアンツファンで常にジャイアンツの試合がテレビ流れていたのがきっかけで、ファン歴は20年以上になります。好きな選手は岡本選手・丸選手、引退しましたが亀井選手も大好きでした。そんな私に大ニュース。2025シーズンの開幕戦が日本で開催されることになり、プレシーズンゲームとして何とジャイアンツとドジャースが試合を行うとのこと。チケットに申し込み。抽選に見事に当選して、観戦することができました。

3回表、大谷選手がライトスタンドにホームランを打ち、しかも打球が私の目の前に飛んできました。ボールをキャッチすることは出来ず悔しい思いをしました。さて、今シーズンは犬を飼い始めたことや地元消防団に入団したこともあり、あまりドームに観戦に行くことが出来ませんでした(昨シーズンは10試合以上現地観戦)が、私のジャイアンツ愛は利用者の知るところでもあり、同じくジャイアンツファンの利用者さんと試合の翌日に「昨日は勝ったね。〇〇選手が大活躍したよね」と話をするなど、コミュニケーションは深化しました。今シーズンは宿敵である阪神タイガースに早々に優勝を決められてしまい、ジャイアンツのリーグ二連覇はなりませんでした。クライマックスシリーズでも横浜DeNAベイスターズに2連敗を喫し、ファインステージに進むことは出来ませんでした。が、気持ちを切り替えて来季に向けてしっかりと応援していきたいです。これからもジャイアンツを応援してライフの充実と、利用者さんとのコミュニケーションをますます深めるツールにしていきたいと思っています。



ワーク&ライフ全力投球

Vol.14

桑田地区のお祭りに参加しました！（9/14）

ピア宮敷第1工房とグループホームが所在する桑田地区の区長さんより、前玉神社秋祭りに参加しませんかとお誘いをいただき、男性の利用者さん達と参加させていただきました。女性の利用者さん達は沿道で観覧し楽しみました。神輿は基本的に台車に乗せて沿道を練り歩きます。利用者の皆さんは神輿が神社から運び出される宮出しの様子を見て「おおー」と感嘆の声を上げておりました。周りの方から「一緒に押して下さい」と声を掛けていただき、楽しく参加することが出来ました。所々にある観覧場所に到着する直前には、神輿を持ち上げて走るという場面もあり、貴重な体験をさせていただくこともできました。お弁当もいただき、地域の方々との交流も図ることが出来、利用者の皆さんの表情は充実した疲労感に満ちており、こちらも嬉しくなりました。次回も是非参加させていただければと思います。（記事：溝上）



長生・夷隅地区福祉施設連絡協議会主催 「僕らはみんな生き生き展」(9/27~28) 茂原アスモに出店



各事業所がイベントに派遣する施設職員の確保に苦戦し、団体としての事業の継続性が危ぶまれる中、相互の協力体制構築と効率化を図るため、従来のレイアウトを大幅に変更し、会場に集中レジが導入されました。会場ではパンやお菓子等の食品が飛ぶように売れ、雑貨などをじっくり選ばれているお客様の姿も見られ、思い思いに買い物を楽しまれる笑顔が溢れておりました。集中レジについては、お客様からは「一回のお会計で済むっていいね」との声や、参加事業所からも、事業継続に前向きな意見も出されるなど概ね好評でした。ご来場いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。次回の開催は2月頃を予定しておりますので、その節もどうぞよろしくお願いいたします（記事：野坂）

地域交流事業～古沢小学校1・2年生の皆さんと～（10/23）



今回で10回目となる交流会には、1・2年生あわせて14名が参加。秋の味覚・さつまいもの収穫と一緒に楽しみました。今年は豊作で、戸外班の畑では昨年よりも大きな芋が育ちました。引き抜くのに一苦労でしたが、「抜けないー！」「おりゃあ！」と元気な声が飛び交い、収穫の喜びをみんなで分かち合いました。大きな芋を見た瞬間の笑顔は、利用者の皆さんも小学生も輝いていました。

子どもたちはそれぞれ自分で選んだ大きなさつまいもを2個ずつ持ち帰りました。収穫中にはコガネムシの幼虫を見つけた小学生が「カブトムシだったらよかったのに」と残念そうに話していましたが、別の農場にカブトムシの幼虫がいることを伝え、小学校へプレゼントすることに。こうした交流を通じて、喜びの輪が広がり、心に残る思い出がまたひとつ増えました。今回も、参加者全員にとって素晴らしい体験となり、今後も継続していきたいイベントとなりました。（記事：渡辺倫）

「第10回いすみふるさとまつり」に出店（11/3）

過去最大の店舗が出店する市内でも最大規模の青空市とあって、多くの来場者でにぎわいました。この秋は毎週末が雨に見舞われていましたが、この日はようやく晴天に恵まれ、久しぶりに明るい雰囲気の中での販売会となりました。会場では、土曜会の各事業所のご利用者様やご家族の方々も多数来場され、お陰様で第1工房のブースは終始にぎわいを見せておりました。また、日頃からお世話になっている地域の方々も多く見られ、ピア宮敷のブースを見つけて挨拶に来てくださる方もいて、地域とのつながりを改めて実感する機会となりました。「昨年買って美味しかったから今年も来ました」といった嬉しいお声もいただき、継続して活動することの大切さを改めて感じました。今後も地域とのつながりを大切にしながら、われわれの活動の発信に取り組んでまいります。（記事：伊東）



地域交流事業～にじ色のドアさんと（7/29）

いすみ市内で事業を展開されている【放課後等デイサービス事業所『にじ色のドア』】の職員さんより、ピア宮敷さんとの交流会をしたいのですがいかがですか？と提案を受けました。是非やりましょう！ということで真夏の地域交流会を開催しました。交流会では夏を感じるかき氷や流しそうめん、プール遊び、豪華（？）景品の獲得を目指して競った射的やフライングディスクにダルマ落とし、ピアフェスタで使用する旗の創作などのイベントを実施しました。ピア宮敷の利用者さんが子ども達にフライングディスクの投げ方を説明したり順番を譲ってあげたりする姿を見て、感心するとともに非常に温かい気持ちになりました。ピア宮敷は以前から近隣の小学生との交流会を実施したり、地域祭礼、ふるさと祭り、ごみゼロ運動などの地域のイベントに参加したりしてきましたが、また1つ交流の機会が増えたことに喜びを感じるとともに、子ども達やピア宮敷の利用者さんにとって笑顔多き1日となったことを嬉しく思いました。（記事：真田）



研修報告

◇千葉県知的障害者福祉協会 職員研修会（9/15～16）

施設勤務が3年から7年目のいわゆる中堅職員を対象とした研修に参加しました。支援技術と知識の習得・他施設職員との交流を目的としたもので、支援に必要な知識の応用や後輩の育成、チーム支援の重要性といった実践的な内容で、非常に充実した研修となりました。「中堅職員は働きやすい職場の構築になくてはならない、要の存在である」という改めて身の引き締まるありがたすぎるお言葉をいただきました。同室に宿泊する他施設職員は初めてお会いする方々ばかりでしたが、全員が異業種転職組で6年目と私と共通した経歴をお持ちでしたので、（お酒の力もあり）すぐに意気投合して色々突っ込んだ話しもでき、こちらも充実した交流の場となりました。研修の機会を提供いただき、ありがとうございました。（記事：木村）

◇全国グループホーム等研修会 東北大会 in 山形（9/17～19）

「東北で開催のGHの全国大会に行くぞ」と突然の指名を受けた私。GHの担当でもないのにな～、熊出ないのかな～、などと考えておりましたところ、今回は“災害対策”がテーマの一つとのこと。私は法人のBCP担当をしておりますし、あと1名同行するH・W支援員もなるほど法人の防災委員でした。GH全国大会は山形県での開催。その日程に先駆けて前日に仙台入り。千葉県知的障害者福祉協会 地域支援部会の役員さん達に同行させていただく形で、東日本大震災で被災された仙台市にある【(福)つどいの家】様に訪問させていただき、GHの見学や意見交換をさせていただきました。夜も情報交換をしっかりと行いました。そして山形でのGH等研修会では災害についての分科会に参加しました。東日本大震災、熊本地震で被災された法人さんから講演をいただきました。全ての法人様のお話で共通だったのは、電話は不通となってしまうため周囲や自法人の事業所毎の状況の把握が困難であったこと、支援物資が全国から毎日の様に届けられるが、拠点



となる保管場所の確保や仕分け作業にとっても人手が掛かったとのことでした。参集してくれた職員や自宅に戻らずに事業所に残ってくれた職員の協力のもと、なんとか事業の継続することが出来たとのことでしたが、やはり負担が大きかったようで、体調を崩してしまったりやむなく離職してしまったケースもあったとのこと、職員のメンタルケアの重要性も語られておりました。ピア宮敷の防災対策においても、今回の研修会で学んだことを踏まえてより現実に即したものにしていきたいと決意を新たにしました。（記事：吉野）

年賀状送付中止のお知らせ

日頃より当施設の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。さて、当施設では近年の社会情勢や業務の効率化、環境への配慮等を踏まえ、来年より年賀状によるご挨拶を差し控えていただくことといたしました。これまで年始のご挨拶を楽しみにしてくださった皆様には心より感謝申し上げます。今後は広報誌やホームページ等を通じて、新年のご挨拶、日頃の感謝と近況をお伝えしてまいります。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。



菜花プロジェクト Season 7

今期で7年目を迎える「菜花プロジェクト」。今シーズン初めて高秀牧場に到着すると何やら牛ではないピンク色の生物の姿が！高秀牧場は循環型酪農。チーズを作る工程で作られる「ホエイ」を無駄にしないよう、あら



たに豚を飼育し「ホエイ豚」として出荷するプロジェクトを始めたそうです。利用者さん達も豚さんを見ながら作業が出来ると大喜び。さて、菜花栽培はというと、初の試みとなる早生品種に挑戦することとしました。ところが、作付け予定地にトウモロコシが植わっていたため『育苗で先に芽出しだけしておく作戦』を決行。例年はシーダーで播種していましたが、今年は8000株の育苗を行ってそれらを全て手作業で定植を行うという、まるで修行のような日々が続きました。植えても植えても終わらず、腰と膝は悲鳴を上げ、ついには「ナバナ筋」なる新しい筋肉まで発見する始末。それでも、利用者さんの笑顔と「もう一列いこう！」という声に励まされ、職員、利用者さん一同、汗と泥にまみれながら最後までやり遂げる事が出来ました。気づけば畑いっぱい青々とした苗が並び、達成感と疲労感が混じったあの瞬間は忘れられません！「笑顔と根気の菜花プロジェクト」として、利用者さんと共に一歩ずつ確かな未来を耕してまいります。温かいご支援とご理解を、どうぞよろしくお願い致します。(記事：平林)

はじめの一步農場

この半年で施設の整備が進みました。7月下旬に活動の基地となるプレハブが設置され、農作物乾燥機も導入し運用を開始しました。ハウス栽培のイチジクは市内のレジェンド栽培者に「上出来！」と太鼓判いただくほど育ち、来年は実が採れそうなので皆さんお楽しみに！場内で栽培するハーブやローゼルも、本体の皆さんに土日の水やりのご協力をいただき元気に育ちました。沢山実ったローゼルの収穫には、ボランティアさん・市内の福祉事業所「やよい」さん・「そら」さん・高秀牧場ミルク工房さんも参加しています。また第1工房の人気商品ローゼルジャムもできました！そして、ナカボツセンターと連携し、働きづらさのある方の就労訓練も始まりました。農作業や話をしながら自分の得意や苦手を見つけ次へ一歩踏み出される様子から、刺激を受け、私達もさらにお役に立てるようになりたいと思います。これからも地域とともに、誰もが自分らしく関わられる農場づくりを進めてまいります。(記事：内野美)

讃岐うどんの
おいしいお店

就労体験館「どんちゃん」

これまでかなりの期間、商品価格の維持に努めてまいりましたが、材料費の高騰等により企業努力だけでは価格を維持することが困難となってまいりました。そのため、誠に不本意ではありますが、10月20日より価格を改定させていただきました。これまで以上に皆さまに喜んでいただけるよう、品質とサービスの向上に努めてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願いいたします。



また、価格改定により、これまでよりポイントが貯まりやすくなりますので、還元率の高いどんちゃんのポイントカードを利用して、是非特典を受けて頂ければと思います。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

新商品や新企画などのお得な情報を発信しています。
【どんちゃんInstagram】のフォローを是非お願いいたします！(記事：石森)

アーティスト達作品展示会 in
「家具の大丸」を開催！5つの障害者福祉事業所の
アーティストたちの競演！

- ・いすみ学園・夷隅郡市福祉作業所
- ・ピア宮敷・ピア宮敷第1工房
- ・みらい工房 パレット

主催・問合せ先
ピア宮敷 0470-87-9631

ピア宮敷 冬のギフトのご案内

「ご愛顧いただいているごま油をはじめ、いすみの自然を凝縮した百花はちみつが今年も登場。大切な方への贈り物に是非！」

【お問合せ先】
ピア宮敷第1工房
☎ 0470-87-5200 FAX 0470-87-7801

←こちらからも
ご注文頂けます。

障害者就業・生活支援センター

センターでは、定期的に地域で就職されている方を対象に在職者交流会を開催しています。地域で生活していく上で身に付けておきたい、学んでいきたいことを中心に毎回企画をしています。今回は防災をテーマとして、神奈川県にある「横浜市民防災センター」へ行ってきました。障害をお持ちの方だからこそ、いざという時にどのように動けば良いかを皆で学ぶ必要性を感じました。その後は「横浜中華街」に行き中華グルメを堪能。学びと遊びの充実した一日を過ごし、明日への英気を養ったのではないかと思います。(記事：主任就業支援員 鶴岡)



画像：横浜市民防災センター HP より

編集後記

つい先日まで、うだるような暑さに「今年の夏は一体いつ終わるのか」と嘆いていたのに、気づけば朝晩はかなりの肌寒くなり、手袋やマフラーが恋しい季節になってきました。あれほど暑さに苦しんでいたはずなのに、冷たい風に肩をすくめる今となっては、その記憶もどこか遠くへ。まさに「喉元過ぎれば熱さを忘れる」とはこのことですね。暦の上ではもうすぐ師走。街にはクリスマスなどの飾りがちらほらと現れ、年の瀬の気配が少しずつ濃くなってきました。慌ただしさの中にも、静かな晩秋の空気が漂っています。どうぞ皆さま、寒暖差に気をつけて、実り多き晩秋をお過ごしください。

配属

勤務課・准看護師

大冨純子
出身
野田市

ニューフェイス

ピア宮敷の公式ホームページでは、各種イベントや支援の様子などを随時更新していきます。こちらも是非ご覧ください。



ホームページのご案内

